

2021年1月10日 主日礼拝 〈成人祝福式〉

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌530番「悩む世人のために」
(わがゆく道) (あなたは愛されるため生まれた)

十 戒

聖 書 ①② エペソ人への手紙5章15～21節 (P306)
③ マタイによる福音書6章25～33節 (P9)

音 楽 西田美栄子姉・宮川由起子姉(伴奏: 田中隆美姉) (V)

メッセージ ①② 「チャンスを買ひ占める」 佐々木智行副牧師
③ 「義とは、羊の下に我を置くこと」 大川従道主任牧師

賛 美 聖歌703番「道は狭くとも我行かん」 (献金)
頌 栄 ハレルヤ コーラス アーメン
祝 禱

「まず神の国と神の義とを求めなさい。そつすれば、これらのものはみな添えて与えられる。」
(マタイ六の三十三) 聖書協会共同訳

【大和ニュース】

☆御成人おめでとうございます。16人。主の特別の祝福を祈ります！

☆受洗おめでとうございます。平田姉(サラの会)。平田兄の母君。

*「緊急事態宣言」を受けて、今夕の第4礼拝(19時)は中止。

*すべての礼拝等は、バス電車の方はご遠慮下さい。YouTubeでご視聴下さい。

* 今週の祈禱会は①水曜夜は時間を変更し、19:00～20:00まで。(18:30開場)

②木曜朝は行います。説教は坪井副牧師 ③金曜夜は中止。

*「断食祈禱」は行います。15日(金)9時～15時(主の十字架の時間帯)。ご無理なきよう！

* コロナ感染から守られますように、全力で取り組んでおります。お祈りください。

石の枕

乱暴に扱われ、傷だらけになったバイオリン。(マイラ・ウェルチ)

競売人は、時間をかけるのも惜しいとばかりに、高く持ち上げ、笑顔で言う。

「さあ皆さん、これはどうかな?」「1ドル、1ドル」、そして2ドル! ちえ、たったの2ドル? 「誰か3ドルはいないかね」「3ドル、1回。3ドル、2回。他になけりゃ3ドルで決まるよ」。でも何の反応もない。

そのとき、部屋の奥から、白髪の男が現われる。そして、前に進み出て弓をとる。その古びたバイオリンのほこりを払い、ゆるんだ弦を締め、澄んだ音色で、心に滲みるメロディを奏でる。まるで天使が賛美歌を歌うように。

演奏が終わり、競売人は、低い声で厳かに言う。

「この古いバイオリンをいくらから始めよう」。そして、バイオリンと弓を持ち上げる。「さあ、1000ドルだ! 誰か2000ドルはいないかね」

「3千ドル、1回。3千ドル、2回。他になけりゃ、これで決まりだ!」

人々はわあっとはやす。でも誰かがこう叫ぶ。「わからんぞ。何で価値がそんなに上がったんだ」。すぐさま答えが返ってくる。「達人の技だよ!」

あるべき道はずれ、痛めつけられ、傷だらけになった罪多き男。

男は、心ない大衆の前で安く値踏みされる。あの古いバイオリンのように。人間の価値が高まるのは、創造主の業だということが。

先週手紙がポストに入っていた。「母は高齢のため教会に来られなくなった。私ที่บ้านに帰ると、牧師の説教の内容を聴き、週報の『石の枕』をむさぼるように読み、ある時はうなづき、ある時は笑う。毎週、楽しみにしているようだ。」

私大川は、もう「石の枕」で50年。約2650回書いたことになる。時々、もう筆を折ろうかと考える。しかし、この老婦人の様子を知って勇気が湧いた。

古くなっても、ほこりをかぶっても、大切なことは、マスターの手に握られることだ。少々時代遅れでも、調子がずれても、聴く耳を持てば、すべては天使の賛美歌になる。今年も、ガンバルぞ——!!(牧師の初夢より)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:マタイ9章~12章 Bコース:創世記25章~40章